

令和5年度 中国四国地域飼料増産推進研修会 開催要領

1 目 的

中国四国地域の自給飼料の増産及び飼料用稲等の地域資源の効率的な利用を推進するためには、労働力不足等の課題を抱える畜産経営において、飼料生産の外部化やスマート農業技術活用等の推進が一層重要となっている。

また、農作業中の死亡事故は毎年300件前後発生するなど、大型農業用機械を扱う機会の多い飼料生産においても農作業安全の確保が課題となっている。

このため、スマート農業技術を活用した外部支援組織による耕畜連携の取組事例や飼料生産分野における農作業安全等について情報共有することにより、管内の自給飼料生産・利用の拡大、飼料自給率向上に資することを目的として研修会を開催する。

2 主 催

中国四国農政局、(一社) 日本草地畜産種子協会

3 日 時

令和5年12月11日(月) 13:30～17:00

4 場 所

岡山県農業共済会館(NOSAI 岡山)「大会議室(6F)」
(岡山市北区桑田町1-30)

5 参集範囲

生産者、県、市町村、試験研究機関、農業関係団体等

6 内 容

(1) 講 演

①飼料生産組織の現状と課題、今後の展開について
就実大学 経営学部 教授 千田 雅之 氏

②飼料作における農作業安全について
農研機構 農業機械研究部門 安全検査部 部長 志藤 博克 氏

(2) 事例発表

①広島県庄原市におけるスマート農業技術を活用した持続可能な地域資源循環型農業の実証について
広島大学 大学院統合生命科学研究科
教授 杉野 利久 氏

②島根県における飼料生産組織の取組事例

ライスフィールド株式会社 代表取締役 吉岡 雅裕 氏

(3) 情報提供

協会の飼料増産に係る取組について

(一社) 日本草地畜産種子協会

(4) 意見交換

①話題提供

スマート農業技術を活用した青刈りとうもろこし生産の実践について

(株) vegeta 代表取締役社長 谷口 浩一 氏

②総合質疑